

メール配信サービス

市からのお知らせをメールで配信しています(事前登録が必要)。
パソコンからは、市ホームページ内「メール配信サービス」をご覧ください。
携帯電話からは、右のQRコードを読み込むか、我孫子市携帯サイト
http://www.city.abiko.chiba.jp/mob/へアクセスしてください。



第30回 手賀沼写真コンクール

皆さんの力作をお待ちしています

クリーン手賀沼推進協議会では、手賀沼の情景を広く紹介する第30回手賀沼写真コンクール作品を募集します。

テーマ ~四季を彩る手賀沼の自然環境~

規格 六つ切りから四つ切りサイズ(ワイド可)。インク

ジェットプリンタを使用の場合は写真専用のプリント用紙にA4から四つ切りサイズ(ワイド可)。いずれも横位置。カラー・モノクロは問いません。
※ただし、合成写真、組写真は不可。



▲昨年の最優秀賞(夏雲湧く 松野洋一さん)



▲昨年の優秀賞 左から(五月晴れの帆走 萩原茂さん)(芽吹きの季節 小泉仁さん)(カヌー遊び 福田久雄さん)

応募規定 2013年6月1日以降に撮影されたもので、他のコンテストに応募していない自作品を1人3点までとします(市販目的のない出版物、クラブ展、個人的なホームページに掲載されたものは可)。

その他 被写体の肖像権、著作権には十分注意を払ってください。人物を撮影する場合は、必ず被写体の承諾を得てください。応募作品は、手賀沼カレンダーや刊行物に使用することがありますので返却しません。

表彰 最優秀賞、優秀賞、入賞(入選者には7月下旬ごろ通知)

応募方法 6月1日(月)~30日(火)必着で郵送、持参。作品の裏面に必要事項を明記した応募票(手賀沼課で配布。市ホームページからもダウンロード可)を作品の天地にあわせて貼付し、〒270-1192市役所手賀沼課(住所省略可)

☎ 手賀沼課(市役所分館1階)・内線467

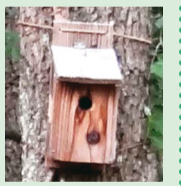
クイズ あびこの自然と文化 13 ~鳥の博物館~

私たちの身近なところで繁殖している鳥には、巣を枝などで皿状に組んで作る鳥や、穴を利用して繁殖する鳥たちがいます。シジュウカラは、樹の洞や巣箱などの穴を利用する鳥としてよく知られていますが、そのほかに穴を利用する身近な鳥がいます。それは次のうちどれでしょう。

次の4つの選択肢から正解を選んでください。
①メジロ ②ムクドリ ③ヒヨドリ ④キジバト

正解者の中から抽選で、鳥の博物館・白樺文学館・杉村楚人冠記念館に入館できる3館共通券を2枚ペアで5組の方にプレゼントします。ご応募お待ちしております。

申・問 ハガキ、ファクス、Eメールにクイズの答え、住所、氏名、電話番号を明記し、5月28日(木)必着で、〒270-1192市役所あびこの魅力発信室(住所省略可) ☎7185-0127、✉quiz@city.abiko.chiba.jp、☎7185-2493
※当選の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。答えは6月16日号に掲載します。



▲シジュウカラの巣箱

あびこ植物図鑑 333

オオキバナカタバミ カタバミ科

文・写真 佐久間 俊行



4月中旬に市内を巡ると、人家の庭や道端で、黄色い花と柄の長い葉をつけたオオキバナカタバミを見かけました。

オオキバナカタバミはアフリカのケープタウンあたりが原産地で、観賞用に栽培され、世界各地に帰化しています。雑草化し、庭などに入り込んだものを除去するため、株を掘り起こすと、小さな鱗茎が現れます。繁殖はもっぱらこの鱗茎によります。葉は心臟形の3小葉からなり、葉に紫褐色の斑点があるので他のカタバミと区別ができます。春には葉より長い花茎を伸ばし、直径が4cmほどの黄色い5弁花を開きます。

掘り出された我孫子の歴史

「根戸船戸遺跡1号墳の頭椎大刀」= 大和王権の刀



▲根戸船戸遺跡1号墳(現在は残っていません)

ぶらりあびこ散歩番外編

平成26年5月から8月、白山3丁目にあった古墳(根戸船戸遺跡1号墳)の発掘調査が行われました。古墳は全長35m、手賀沼に向かって開く横穴式石室をもつもので、古墳時代終末期(6世紀末から7世紀初め)の、地域を治めた豪族の墓と考えられます。石室は長年の時間の経過のためか、天井の石が崩落し、内部に落ちていました。調査が終盤を迎えた7月のある日、石室の床面近くで、灰色に慣れた目に鮮やかなグリーンが飛び込んできました。「銅だっ!!」発掘現場に緊張が走ります。グリーンは銅の錆である「緑青」で、貴重な銅製品が出る予兆なのです。慎重に石を除いていくと、赤茶色を帯びた鉄と銅が絡み合っている...それは鉄の刀に銅の飾り金具を付けた「飾り大刀」、それも柄の先端「頭」にコブシ型の「椎=槌」が付いていることから「頭椎大刀」と呼ばれる特殊な刀でした。

今回出土した頭椎大刀は長さ約1.2m。鉄の刀に木製の鞘が被せられています。鞘の先端、中ほど、鏢、そして刀を握る部分である柄には銅が巻かれています。緑青が浮き出ているためはつきりしませんが、銅には「金メッキ」が施されていたようです。

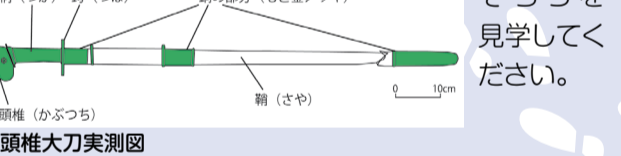
研究によると、頭椎大刀は古く『古事記』『日本書紀』にもその名が記され、主に6世紀末から7世紀初頭の東海地方から関東地方の大型古墳から出土することが多く、古墳に埋葬された人物が大和王権から地域支配を任せられた「国造」と呼ばれる豪族であり、権威の象徴として大和王権から頭椎大刀を拝領した、というのです。千葉県内では木更津の金鈴塚古墳(全長100m)、香取市城山1号墳(全長68m)、山武市大堤権現塚古墳(全長174m)など、交通の要衝を支配した強大な権力を持った豪族の古墳から出土しており、全長35mの根戸船戸遺跡1号墳から出土するのは意外な気がします。それだけ大和王権が手賀沼の重要性を認識し、ここを支配する豪族に気を使っていたのでしょうか? 謎解きはこれからです。

今回の調査ではこのほかに鉄の大刀3本、鉄のやじり多数、銅の耳飾り、ガラス玉多数が発見されました。頭椎大刀を含む金属製品は、長い年月で浸透してしまった塩分を抜いて錆止めの処理を行っています。今年の冬ごろには皆さんにお見せできればと思っています。



▲頭椎大刀出土状況

※根戸船戸遺跡1号墳は現在残っていません。私有地につき跡地見学もご遠慮ください。同様な古墳として根戸船戸古墳公園内に2号墳が残されているので



▲頭椎大刀実測図

そちらを見学してください。

消費生活センターだより 38

「個人情報削除してあげる」という公的機関をかたる電話に注意!

「公的機関を名乗るところから電話があり、『あなたの個人情報が漏れているので削除しましょう』と言われた。削除を依頼したところ、その後また電話があり、『あなたの個人情報を削除するには、代わりに人の個人情報の登録が必要になる。ボランティア団体が登録を引き受けてくれることになったので、連絡を待つように』と言われた。もうすぐ電話がかかってくると思うが、本当に公的機関が個人情報の削除を行っているのか」という相談がありました。

消費生活センターや国民生活センター等の公的機関が、「個人情報を削除する」などと言って電話をかけることは絶対にありません。

相手の話を聞いてしまうと、さまざまな理由をつけて金銭を要求されてしまいます。このような電話がかかってきた時は、相手にせずきっぱり断ってください。

相談受付日時 ☎7185-0999
平日、第2・4土曜日 午前10時~午後5時30分
アビイコオーレ2階(イトーヨーカドー我孫子南口店)